

## 社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	防災の街づくりを目指す所沢市の下水道<第2期>(防災・安全)											
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	所沢市											
計画の目標	地震対策、改築更新を進め、防災に強い下水道を目指す。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	520	A	520	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	R2末	R4末
1	下水道総合地震対策計画(中期計画)に基づく耐震対策により、下水道(管渠)としての機能が確保できている割合(機能確保率)を0%(H30当初)から100%(R4末)に上昇させる。 下水道総合地震対策計画(中期計画)に基づく耐震対策実施率(管渠) 耐震対策実施済みの管渠の延長(km)/耐震化が必要な管渠の延長0.5(km)	0%	55%	100%
2	下水道総合地震対策計画(中期計画)に基づく耐震対策により、下水道(マンホール)としての機能が確保できている割合(機能確保率)を0%(H30当初)から100%(R4末)に上昇させる。 下水道総合地震対策計画(中期計画)に基づく耐震対策実施率(マンホール) 耐震対策実施済みのマンホール数(箇所)/耐震化が必要なマンホール数25(箇所)	0%	53%	100%
3	下水道総合地震対策計画(中期計画)に基づく耐震対策により、下水道(雨水貯留施設)としての機能が確保できている割合(機能確保率)を0%(H30当初)から100%(R4末)に上昇させる。 下水道総合地震対策計画(中期計画)に基づく耐震対策実施率(雨水貯留施設) 耐震対策実施済みの雨水貯留施設数(箇所)/耐震化が必要な雨水貯留施設数6(箇所)	0%	0%	100%
4	重要な幹線の耐震診断実施率を39%(H30当初)から50%(R4末)に増加させる。 重要な幹線の耐震診断実施率 耐震診断実施済みの重要な幹線の延長(km)/耐震診断が必要な重要な幹線の延長121(km)	39%	50%	50%
5	下水道ストックマネジメント計画(H31~R5)に基づく調査実施率(管渠)を0%(H30当初)から100%(R4末)に増加させる。 下水道ストックマネジメント計画(H31~R5)に基づく調査実施率(管渠) 調査実施済みの管渠延長(km)/調査が必要な管渠の延長120(km)	0%	50%	100%
6	ストックマネジメント導入により、約15億円/年コスト縮減効果を図る。 下水道ストックマネジメント計画(H31~R5)に基づく改築実施率(管渠) 改築実施済みの管渠延長(m)/改築が必要な管渠の延長930(m)	0%	33%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	-----------------------	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	所沢市	直接	所沢市	管渠（雨水）	改築	下水道総合地震対策事業（耐震診断・耐震化工事）	耐震診断及び耐震化工事	所沢市						266		策定済	
		総合地震対策、種別1：管渠（雨水・合流）を含む																		
	A07-002	下水道	一般	所沢市	直接	所沢市	管渠（汚水）	改築	下水道総合地震対策事業（計画策定・長期計画）	計画策定（長期計画）	所沢市							14		-
		種別1：管渠（雨水・合流）を含む																		
	A07-003	下水道	一般	所沢市	直接	所沢市	管渠（汚水）	改築	下水道ストックマネジメント計画（調査）	調査	所沢市							240		策定済
		ストックマネジメント計画、種別1：管渠（合流）を含む																		
	A07-004	下水道	一般	所沢市	直接	所沢市	管渠（合流）	改築	下水道ストックマネジメント計画（改築）	改築	所沢市							0		策定済
		ストックマネジメント計画																		
											小計							520		
										合計							520			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
所沢市公共事業評価委員会条例に基づき、公共事業の評価に関し知識・経験を有する第三者から構成される、所沢市公共事業評価委員会に意見を求めた。また、市ホームページにて事後評価書及び概要書を公表する。	令和6年1月
	公表の方法 市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	1. 下水道総合地震対策計画（中期計画）に基づく地震対策・耐震診断により、防災に強い下水道の推進に寄与した。 2. 下水道ストックマネジメント計画に基づく管渠の調査・改築更新を行い、下水道施設の計画的な老朽化対策を進めることで、防災に強い下水道の推進に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<p>&lt; 下水道ストックマネジメント計画に基づく改築について &gt;  改築については、補助金対象となる可能性のある管渠930mのみ計画目標としており、今回は未達となってしまっているが、ストックマネジメント事業全体としては平成30年度～令和4年度までの5年間で2,801m改築しており、防災に強い下水道の推進をしている。</p> <p>&lt; 今後の方針 &gt;  ・地震対策については、下水道総合地震対策計画（長期計画）に基づき事業を進める。  ・改築更新については、下水道ストックマネジメント計画に基づき事業を進める。</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	耐震対策実施率（管渠）	
	最終目標値	100%
2	最終実績値	100%
	耐震対策実施率（マンホール）	
2	最終目標値	100%
	最終実績値	88%
マンホール25か所のうち、22か所については耐震対策を実施した(22か所/25か所=88%)。残り3か所については、施工難易度が高く、現在の排水ルートを変更するなどの対応を検討する必要があるため、計画期間内に耐震対策を行うことが出来なかった。今回残った3か所の対応については、今後検討を進める。		
3	耐震対策実施率（雨水貯留施設）	
	最終目標値	100%
3	最終実績値	33%
	6か所のうち、1か所は耐震対策を実施し、1か所については耐震診断の結果対策不要となったため対策済みとした(2か所/6か所 = 33%)。令和4年度に、令和5年度以降の耐震対策に向けた耐震診断を行うために、調整池5か所を既存の計画に急遽追加したため、その5か所については耐震対策を実施していない。残り4か所の耐震対策については、令和5年度からの計画内で行う予定である。	
4	耐震診断実施率	
	最終目標値	50%
4	最終実績値	75%
	本計画終了時点で91km耐震診断実施済となった(91km/121km=75%)。令和5年度からの下水道総合地震対策事業（長期計画）として、耐震対策を行う箇所の選定のため、長期計画対象管渠のうち約25kmを耐震診断したため、目標値を上回った。	
5	調査実施率（管渠）	
	最終目標値	100%
5	最終実績値	100%

